

- 問1 世界の造山帯と山脈の分布について述べた文として、北アメリカ大陸の地形的特徴を正しく説明しているものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 大陸東側に険しいアンデス山脈が走り、現在も激しい火山活動が続いている | 2. 大陸全体が安定陸塊であり、ロッキーマountainのような高地は存在しない | 3. 大陸中央部を南北にアルプス山脈が走り、大規模な放牧地となっている | 4. 大陸西側に高く険しいロッキー山脈があり、環太平洋造山帯に属している |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 アメリカと中国はともに日本への農林水産物輸出において大きなシェアを持っていますが、その生産体制には大きな違いがあります。アメリカが中国に比べて圧倒的に少ない農業従事者数で大規模な生産を維持できている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 土地を細かく区切り、家族経営を中心とした丁寧な手作業で収穫量を増やしているため | 2. 広大な農地に大型機械を導入し、少人数の労働力で効率的な生産を行っているため | 3. 灌漑施設をあえて使わず、自然の降雨のみに頼ることで環境負荷を抑えた生産をしているため | 4. 都市近郊に農地を集中させ、輸送コストを抑えた労働集約的な生産を行っているため |
|--|--|---|---|
- 問3 北アメリカ大陸の南部に位置し、アメリカ合衆国やカナダとともに自由貿易協定であるUSMCAを締結し、工業製品の輸出などを通じて両国と密接な経済関係を築いている国を答えなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|-------|---------|
| 1. メキシコ | 2. アルゼンチン | 3. チリ | 4. ブラジル |
|---------|-----------|-------|---------|
- 問4 日本・アメリカ合衆国・中国・韓国の4か国を対象とした高校生のインターネット利用状況の調査において、アメリカ合衆国の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、ここでの「友人」とは、インターネット上のみのつきあいで、実際に会ったことのない人を指すものとします。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 1日の利用時間が6時間以上の生徒は全体の半数を超えているが、ネット上のみの友人を持つ生徒の割合は4か国中で最も低い。 | 2. インターネットの利用時間は日本や韓国よりも短く、SNSの利用目的は学校の課題解決や学習活動に特化している。 | 3. 1日の利用時間が4時間以上の生徒が全体の30%を超えており、ネット上のみの友人が50人以上いる割合も20%を超えている。 | 4. 4時間以上の長時間利用者は全体の1割程度にとどまるが、オンラインゲームを通じて100人以上の友人と交流を持つ生徒が過半数に達している。 |
|---|--|---|--|
- 問5 アメリカ合衆国の工業は、五大湖周辺の重工業から、1970年代以降は北緯37度以南の「サンベルト」と呼ばれる地域での先端技術産業へと重心が移りました。この先端技術産業の発展を支えた仕組みや背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 周辺で栽培される綿花を原料とするために、大規模な自動織機を備えた工場が建設された。 | 2. アパラチア山脈から産出される豊富な石炭を燃料とし、安価な電力で大規模な生産を行う。 | 3. 政府が特定の地域を工業専用の特区内に指定し、重工業製品の輸出に關税をかけない政策をとった。 | 4. 大学や研究機関と企業が密接に連携し、新しい技術や製品を開発する体制が整っている。 |
|--|--|--|---|
- 問6 カナダは、多様な民族の文化を互いに尊重し合う「多文化主義（マルチカルチュラリズム）」を政策として採用しています。これに関連して、カナダで英語とともに公用語として定められている言語はどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|---------|----------|
| 1. フランス語 | 2. 中国語 | 3. ドイツ語 | 4. スペイン語 |
|----------|--------|---------|----------|
- 問7 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ周辺に見られる気候の名称として正しいものはどれですか。この地域の雨温図を確認すると、年平均気温が約13.5度で温帯に属しており、6月から8月の夏季に降水量が極端に少なく、逆に12月や1月の冬季に降水量が多くなる「V字型」の降水パターンが特徴です。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 温暖湿潤気候 | 2. 西岸海洋性気候 | 3. 熱帯雨林気候 | 4. 地中海性気候 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問8 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ周辺の地域では、年間の平均気温が約15.8度、年降水量が約401.8mmで、特に夏季の降水量が極端に少なくなっています。このような気候の特徴と、1950年代以降にこの地域で急速に成長した産業の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 沿岸を流れる寒流の影響で夏季もそれほど高温にならず、乾燥する地中海性気候に属している。産業面では半導体などの情報通信技術（ICT）に関連する企業が成長した。 | 2. 暖流の影響で年間を通じて温暖で降水量が多い温暖湿潤気候に属している。産業面では広大な土地を利用した大規模な綿花栽培や繊維工業が発展した。 | 3. 偏西風の影響で夏は涼しく冬は温暖で、一年中平均して雨が降る西岸海洋性気候に属している。産業面ではデトロイトを中心とした自動車産業の集積地となった。 | 4. 赤道に近い低緯度のため一年中高湿多湿な熱帯雨林気候に属している。産業面ではサトウキビなどのプランテーション農業やバイオ燃料の製造が盛んである。 |
|---|---|--|--|
- 問9 2022年における世界の小麦生産量は約8億1138万トン、輸出量は約1億9097万トンでした。この統計において、アメリカ合衆国が世界全体の生産量に占める割合は5.5パーセントですが、世界全体の輸出量に占める割合は11.0パーセントに達しています。この数値から読み取れる、アメリカ合衆国の農業の特徴として適切なものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 国内での小麦消費量が非常に多いため、生産量のほとんどが輸出に回されない構造になっている。 | 2. 世界全体の生産量の30パーセント以上を1国で占めており、生産量と輸出量の割合が一致している。 | 3. 生産量に占める輸出量の割合が高く、世界の小麦供給において重要な役割を果たしている。 | 4. ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国への輸出に特化しており、世界全体の輸出シェアは1パーセント未満である。 |
|---|---|--|--|
- 問10 北アメリカ大陸に位置するある国は、広大な国土を持ちながら人口密度が1平方キロメートルあたり約18人と非常に低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約43,000ドルに達する経済水準の高い先進国です。この条件に当てはまる国はどこですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| 1. 中国 | 2. インド | 3. エジプト | 4. カナダ |
|-------|--------|---------|--------|
- 問11 アメリカ合衆国における日系企業の進出状況について、業種別の拠点数や在留邦人数の統計をまとめた資料から読み取れる、日本の経済活動の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 自動車産業などの製造業を中心とした拠点数が多い | 2. 石炭や鉄鉱石を採掘する鉱業の拠点数が中心となっている | 3. 農業や林業といった第一次産業の拠点数が最も多い | 4. 電気・ガス・水道業などの公共インフラ部門に特化している |
|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 大陸西側に高く険しいロッキー山脈があり、環太平洋造山帯に属している	北アメリカ大陸の西側には環太平洋造山帯に属するロッキー山脈が走っています。一方、大陸東側にあるアパラチア山脈は古期造山帯であり、なだらかな地形が特徴です。アンデス山脈は南アメリカ大陸にあるため、大陸の取り違えに注意が必要です。
問2	答え 2 広大な農地に大型機械を導入し、少人数の労働力で効率的な生産を行っているため	アメリカの農業の最大の特徴は、広大な農地を少人数で管理する生産効率の高さにあります。これを支えているのが大型機械の導入であり、一人あたりの耕作面積が中国などのアジア諸国と比べて極めて広いことが背景にあります。中国は統計上、農業に従事する人口が非常に多く、労働力を大量に投入するスタイルが残っています。
問3	答え 1 メキシコ	北米自由貿易協定（NAFTA）を引き継ぐ形で発効したUSMCAは、アメリカ、カナダ、メキシコの3か国による協定です。メキシコは北アメリカの南端に位置し、アメリカとの国境付近に多くの工場が進出するなど、地理的な近さを活かした貿易が盛んに行われています。選択肢にあるブラジルやアルゼンチンは南アメリカ大陸に位置する国であるため、USMCAの加盟国ではありません。
問4	答え 3 1日の利用時間が4時間以上の生徒が全体の30%を超えており、ネット上のみの友人が50人以上いる割合も20%を超えている。	現代の情報化社会において、アメリカ合衆国の高校生は他国と比較してインターネットを長時間利用する傾向が顕著です。具体的には、「6時間以上（17.5%）」と「4時間以上6時間未満（15.1%）」を合わせると、1日4時間以上利用する生徒が3割を超えています。また、人間関係の面でも、ネット上のみの知人が「50～99人」と「100人以上」を合わせた割合が2割を超えており、オンラインでのコミュニケーションが活発であることがわかります。
問5	答え 4 大学や研究機関と企業が密接に連携し、新しい技術や製品を開発する体制が整っている。	サンベルトにおける工業の発展は、温暖な気候や安価な労働力に加え、大学や研究機関が集まる環境で産学連携が進んだことが大きな要因です。これにより、集積回路（IC）や航空宇宙、バイオテクノロジーといった先端技術産業が成長しました。綿花栽培はかつての南部の主産業であり、石炭を利用した生産は五大湖周辺の古い工業地域の特徴です。
問6	答え 1 フランス語	カナダは歴史的にイギリスとフランスの両国による植民地支配を受けた背景があり、現在も英語とフランス語の二つを公用語として定めています。特にケベック州などの地域ではフランス系住民が多く、文化的な独自性を守るための政策がとられています。
問7	答え 4 地中海性気候	温帯の中でも、夏季に乾燥し冬季に雨が降るという特徴を持つ気候を地中海性気候と呼びます。サンフランシスコなどの北アメリカ大陸西海岸や、ヨーロッパの地中海沿岸に広く分布しています。雨温図においては、北半球の場合、中央（夏季）の降水量が極端に低くなるのが最大の特徴です。
問8	答え 1 沿岸を流れる寒流の影響で夏季もそれほど高温にならず、乾燥する地中海性気候に属している。産業面では半導体などの情報通信技術（ICT）に関連する企業が成長した。	サンフランシスコ周辺は、北緯37度以南の成長著しい地域である「サンベルト」の北端付近に位置します。気候面では、夏季に亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬に一定の降水がある地中海性気候（Cs）が特徴です。特にアメリカ西海岸ではカリフォルニア海流（寒流）の影響により、夏の気温が極端に上がらない冷涼な気候となります。産業面では「シリコンバレー」と呼ばれ、1950年代の半導体産業を皮切りに、IT分野で世界をリードする企業が数多く誕生しました。
問9	答え 3 生産量に占める輸出量の割合が高く、世界の小麦供給において重要な役割を果たしている。	アメリカ合衆国は、世界全体の生産量シェア（5.5%）に対して、輸出量のシェア（11.0%）が約2倍となっていることから、生産された小麦の多くを海外へ輸出していることがわかります。このように、自国での消費を上回る余剰生産分を世界市場に供給する「世界の食糧庫」としての役割を担っています。
問10	答え 4 カナダ	北アメリカに位置するカナダは、ロシアに次いで世界で2番目に広い国土面積を持ちますが、北部の寒冷な気候などの影響もあり、人口は国土の広さに対して少なくなっています。そのため、人口密度が非常に低いことが統計上の大きな特徴です。一方で、豊かな天然資源や高度な工業化を背景に、1人あたりの国内総生産（GDP）は世界でも上位に位置する先進国としての側面を持っています。
問11	答え 1 自動車産業などの製造業を中心とした拠点数が多い	アメリカ合衆国は日本にとって重要な経済的パートナーであり、世界でも有数の在留邦人数を誇ります。日系企業の進出状況を業種別に見ると、特に自動車産業をはじめとする製造業の拠点数が多く、現地での生産・販売活動が活発に行われているのが特徴です。これは、かつての貿易摩擦への対応や、巨大な消費市場である現地での需要に迅速に応えるための戦略の結果です。